

## 2 賑わう「都」をつくる

### 【基本的方向】

奈良が有する自然・歴史・文化資源を活用し、観光産業を振興する。

### 【数値目標】

- (1) 外国人旅行者数 258万人（平成30年）→450万人（令和6年）
- (2) 外国人延べ宿泊者数 44万人泊（平成30年）→100万人泊（令和6年）
- (3) 国際会議開催件数 33件（平成29年）→80件（令和6年）

### 【具体的施策】

#### (3) 滞在型観光の定着

##### ① ホテル誘致、多様な宿泊サービスの提供

本県では、近年、ホテル客室数が増加していますが、全国的には最下位クラスです。そのため、県内各地での上質なホテル等の誘致を加速するとともに、多様な宿泊ニーズに対応したバラエティー豊かな宿泊サービスの提供に取り組みます。奈良に宿泊される観光客にも安心して宿泊予約していただくため、より効果的な仕組みについて検討します。



高畑町裁判所跡地の整備イメージ



吉城園周辺地区の整備イメージ



旧奈良監獄周辺整備後のイメージ（法務省提供資料）



ホテル内装イメージ（法務省提供資料）



民泊イメージ



<KPI>

指標名	現状値	目標値
旅館・ホテル客室数	9,426 室（平成 30 年度）	12,000 室（令和 6 年度）
旅館業法に基づく営業許可（簡易宿所）、住宅宿泊事業法に基づく届出件数	460 件（平成 30 年度）	700 件（令和 6 年度）

## ＜具体的な取組＞

- JETRO（日本貿易振興機構）と連携し、海外ホテル事業者等を対象とした誘致活動を実施
- スポーツ合宿・セミナー・イベント等に対応できるホテルの誘致
- 地域の「食」と「農」や「眺望」を活かした宿泊施設の整備
- 高畑町裁判所跡地周辺地区、吉城園周辺地区等の整備
- 高畑町裁判所跡地における庭園復元、一般公開
- 吉城園周辺地区における土塀修景
- 「奈良県と奈良市とのまちづくりに関する包括協定書」に基づき、奈良市が実施するアクセス道路整備事業への財政措置
- 法務省が実施する旧奈良監獄活用事業への協力
- 良質な民泊サービスを拡充（資金面の支援、開業希望者を対象としたセミナーの開催等）

## 【具体的施策】

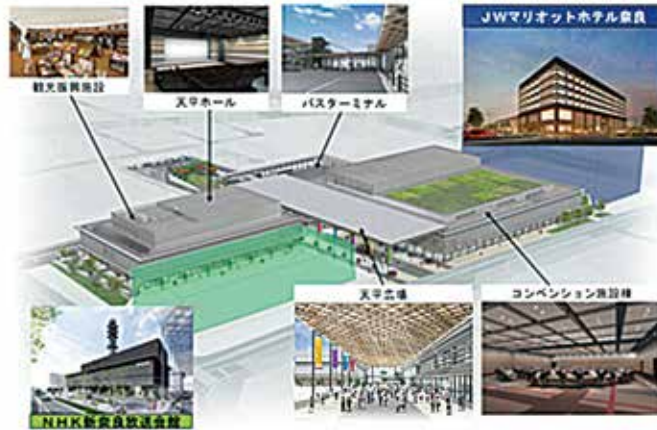
### ②奈良県コンベンションセンターを活用した観光振興

本県は、シルクロードを通じて、ユーラシア各地の様々な文明を受け入れて形成された日本最初の首都・平城京が置かれた国際交流都市です。このような歴史的・文化的な土地で、他の都市では味わえない「奈良らしい」MICE環境を有しています。令和2年4月には、これまで奈良になかった大型コンベンション施設と、国際ブランドホテルが誕生します。これらの交流拠点施設を核に、MICE誘致活動の強化や地域全体でのおもてなしの体制の整備を行うとともに、イベント開催等による賑わいを創出します。

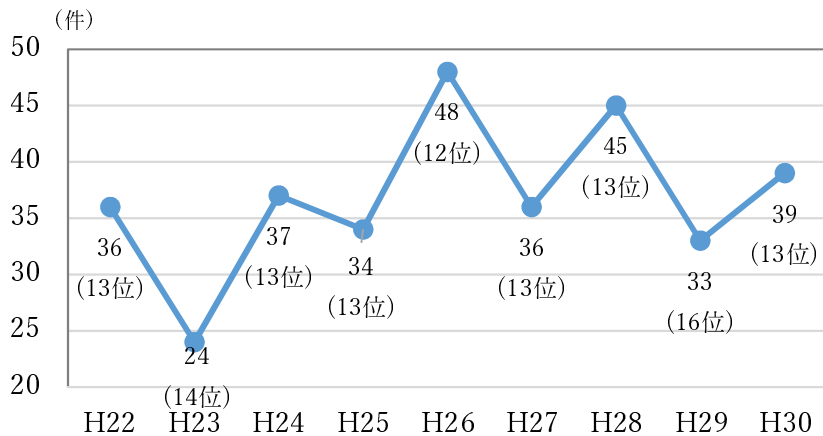
※MICE・・・企業等の会議（Meeting）、企業等の行う報奨・研修旅行（Incentive travel）、国際機関・団体、学会等が行う国際会議（Convention）、展示会・見本市、イベント（Exhibition/Event）の頭文字のことであり、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称

## 令和2年4月 まちびらき

## 大宮通り交流拠点施設(奈良県コベンションセンター)



## 奈良県の国際会議開催件数



(JNTO 国際会議統計を元に集計)

## &lt;KPI&gt;

指標名	現状値	目標値
国際会議開催件数	39 件 (平成 30 年)	80 件 (令和 6 年)

## &lt;具体的な取組&gt;

- 県、P F I 事業者による積極的なM I C E 誘致活動
- タウンマネジメント協議会を定期開催し、賑わいと交流の創出
- 賑わい創出に向けた多彩なイベントを定期的で開催
- 国際会議に関する情報を収集・分析したうえでのセールス展開
- 国際会議の開催地決定権者等キーパーソンを対象にしたファミトリップを実施

- 商談会・見本市への積極的な出展
- 競争できる開催支援制度の創設
- 魅力的なユニークベニユーの作成

## 【具体的施策】

### (4) 魅力ある観光地づくり

#### ①奈良公園周辺の環境整備

猿沢池周辺が外国人をはじめ観光客で賑わうエリアとなるよう、外国人観光客向けの観光案内機能・交流・宿泊機能等を備えた拠点施設「奈良県外国人観光客交流館（奈良県猿沢イン）」の整備や近鉄奈良駅前行基広場の大屋根の整備、バスロケーションシステムの整備を進めてきました。玄関口である近鉄奈良駅前の景観・環境整備を進めます。

魅力ある観光地づくりを推進するため、「Wi-Fi環境やキャッシュレス環境などの受入環境整備」、「食の魅力向上」、「移動・周遊環境の充実」等の環境整備を行い、奈良公園周辺のアメニティをさらに良くします。

ウッドデッキでのイベント（猿沢イン）



本格的な日本文化（抹茶）の体験（猿沢イン）



日本文化体験（猿沢イン）



## ぐれーとさまあふえすた☆ならまち遊歩



## &lt;KPI&gt;

指標名	現状値	目標値
奈良市観光入込客数	1,702 万人（平成 30 年）	2,068 万人（令和 3 年）

## &lt;具体的な取組&gt;

- スムーズな周遊案内の充実のため、大型パネルの新設
- より多くの観光客等に利用されるよう奈良公園バスターミナルの案内サインを増設
- 県庁舎や周辺施設との連携による相互の案内サインの増設
- 奈良公園バスターミナル敷地内で修学旅行生等が快適に昼食をとれるよう環境整備
- 奈良公園周辺でのイベントや催しを継続して実施
- 奈良公園周辺のトイレの洋式化を推進
- 奈良公園スマートシティの実現化（Society5.0）
- ならまちへの誘客を図るために核となる猿沢池周辺の環境整備
- 奈良県外国人観光客交流館をにぎわいの拠点として整備
- 近鉄奈良駅前の景観・環境整備

## 【具体的施策】

## ②奈良公園周辺の交通周遊環境向上

鉄道駅から奈良公園や平城宮跡などの中心市街地内の観光施設を結ぶ交通手段としてバスを運行し、移動環境の向上を図ります。奈良公園周辺における周遊環境を高め、大仏殿前駐車場の環境整備、休憩施設設置等を進めます。また、奈良公園バスターミナルのアメニティ向上のため環境改善を進めます。

## 奈良公園バスターミナル



## ぐるっとバスのルート



## <KPI>

指標名	現状値	目標値
奈良市観光入込客数（再掲）	1,702 万人（平成 30 年）	2,068 万人（令和 3 年）

## <具体的な取組>

- 大仏殿前駐車場における休憩施設の整備
- ぐるっとバス（奈良公園ルート、若草山麓ルート、大宮通りルート）の運行
- パーク&バスライドの運営
- スムーズな周遊案内の充実のため、大型パネルの新設
- より多くの観光客等に利用されるよう奈良公園バスターミナルの案内サインを増設

- 県庁舎や周辺施設との連携による相互の案内サインを増設
- 奈良公園バスターミナル敷地内で修学旅行生等が快適に昼食を取れるよう環境整備
- 奈良公園バスターミナル等におけるイベントや催しの実施
- 奈良公園スマートシティの実現化（Society5.0）

## 【具体的施策】

### ③県立文化施設の整備

本県では、文化施設の整備を進める中で、耐震性の低い県立文化会館・美術館については一体的な改築整備の検討を進めてきましたが、美術館との一体整備から文化会館を分離し、先行してリニューアル整備します。美術館のリニューアルについても、今後の文化財発掘調査結果を踏まえて検討します。

## <KPI>

指標名	現状値	目標値
文化活動または文化鑑賞を行った県民の割合（県民アンケート調査）	54.1%（令和元年度）	55.0%（令和3年度）

## <具体的な取組>

- 先行整備に伴う諸課題の整理と併せて、国際ホールのリニューアルなど新たな課題等を検討
- 文化情報の発信強化

## 【具体的施策】

### ④大宮通りの景観の向上

本県では、奈良市大宮通りの景観改善を推進しています。観光客を迎え入れる玄関口となる大宮通りに花壇やイルミネーションを整備します。また、ボランティアや沿道企業の協力を得て花壇の植え付けや清掃活動を行います。



花壇の整備  
(油阪交差点 (南東側))



花壇の整備  
(二条大路南5丁目交差点)



鹿のイルミネーション  
(油阪交差点 (東側))



花壇の整備  
(二条大路南1丁目交差点 (北東側))



## <KPI>

指標名	現状値	目標値
奈良市観光入込客数 (再掲)	1,702 万人 (平成 30 年)	2,068 万人 (令和 3 年)

## <具体的な取組>

- 奈良市二条大路南5丁目交差点から高天交差点間に設置した花壇への花の植え付け (春期・秋期)
- 奈良市二条大路南5丁目交差点、二条大路南1丁目交差点、油阪交差点に設置した花壇の秋期イルミネーション実施
- 奈良市新大宮 (奈良中央郵便局) から高天町交差点までの冬期イルミネーション実施
- 広報誌による情報発信の強化

## 【具体的施策】

### ⑤平城宮跡周辺の整備

本県では、平城宮跡西側に続いて東側の整備を進めています。平城宮跡南側も朱雀門を中心として一体感のある整備を行います。また、国が大極殿院南門整備に着手しており、平城宮跡をもっと賑やかにします。

平城宮跡周辺



検討中の歴史体験学習館



南門完成イメージ図



提供：国営飛鳥歴史公園事務所

## <KPI>

指標名	現状値	目標値
奈良市観光入込客数（再掲）	1,702万人（平成30年）	2,068万人（令和3年）

## <具体的な取組>

- 平城宮跡東側及び南側の速やかな用地買収
- 平城宮跡東側及び南側整備に向け早期の工事着手
- 大極殿院南門整備（国事業）への協力
- AIやIoT技術等の新技術を活用した「パークスマートチャレンジ」の実施

## 【具体的施策】

### ⑥中町道の駅の整備

中町道の駅について、「公共交通の結節機能」、「地域観光のゲートウェイ機能」、「地元農産物の直売所などの地域振興機能」を持たせるとともに、広域防災拠点の役割を担う施設として整備を進めます。

(仮称) 中町「道の駅」レイアウト (案)



(仮称) 中町「道の駅」周辺構想



## <KPI>

指標名	現状値	目標値
中町道の駅の整備	基本計画策定 (平成 30 年度)	供用開始予定 (令和 5 年度)

## <具体的な取組>

- バスターミナルやパーク&バスライド駐車場の整備
- 地域観光の情報提供施設の整備
- 地元農家等と連携した農産物直売所の整備

## 【具体的施策】

### ⑦自転車周遊環境整備

本県では、広域的な周遊観光を促す環境づくりを推進するため、奈良まほろばサイク  
∞リング「ならクル」を整備してきました。さらに、平成27年度から京奈和自転車道の  
整備着手しており、京奈和自転車道と関連自転車道の整備を推進します。



### <KPI>

指標名	現状値	目標値
京奈和自転車道の整備延長	40 km (令和元年)	75 kmの概成 (令和2年)

### <具体的な取組>

- 京奈和自転車道の整備
- 県内の観光地を周遊する広域的な自転車ルート整備
- 自転車利用環境整備

## 【具体的施策】

### (5) 観光奈良の魅力向上・発信

#### ① 県内イベントの充実

本県の特性である歴史・文化や自然借景を活かし、さらには新たな集客施設において、様々なイベントを実施することで、幅広い年代層の参加を促します。

来場を契機に歴史文化資源への学習・発見機会の創出、好奇心の醸成を図り、施設利用や県内観光へのリピーター増加につなげます。

さらに、周遊、滞在、宿泊につなげるため、イベント間や交通ネットワーク等との連携による広域的な展開を図っていきます。

冬季誘客イベント「大立山まつり」



ムジークフェストなら



平城京天平祭



## <KPI>

指標名	現状値	目標値
各イベントの来場者数 ・大立山まつり ・天平祭 ・ムジークフェストなら	241,000人（令和元年度）	260,000人（令和6年度）

## <具体的な取組>

- 日本書紀編纂 1300年、藤原不比等没後 1300年といった歴史の節目に、その歴史背景を発信
- 平城宮跡をはじめ、復原された建造物や奈良県コンベンションセンターなどの集客施設での新たなイベント等の展開
- 民間事業者と連携した次世代移動通信等の新たなコンテンツの導入（Society5.0）

## 【具体的施策】

### ②海外プロモーション・東京プロモーション等の展開

海外プロモーションについては、欧米豪及び中華圏を主要なターゲットとし、東京オリンピック・パラリンピック、ワールドマスタースゲームズ 2021 関西など日本で開催される国際的なイベントの機会を捉え、政府関係機関等との連携などにより、効果的に展開します。

国内においては、東京における奈良県発信拠点の「奈良まほろば館」「ときのもり」を新拠点に移転し、ショップでの「奈良もの」販売、レストランでの「奈良のうまいもの」提供の充実等により、奈良県の魅力発信と誘客促進を一層強化します。また、東京を主要なターゲットに鉄道事業者等と連携したプロモーションを展開します。

フランスでのプロモーションの様子



奈良県観光キャンペーンポスター



## <KPI>

指標名	現状値	目標値
外国人旅行者数	258 万人（平成 30 年）	450 万人（令和 6 年）

## <具体的な取組>

- 外国人目線に立った情報発信
- 奥深い奈良の魅力を活かした特色ある商品造成
- 富裕層をターゲットにしたプロモーションの推進
- 大規模国際イベント開催の機会を捉えた誘客プロモーションの強化
- 政府等の関係機関と積極的な連携
- 鉄道事業者等と連携した観光キャンペーンの実施

## 【具体的施策】

### ③食の振興

奈良の魅力向上のため、食の振興を図り、「奈良にうまいものあり」の評判を定着させます。

奈良のおいしい「食」を活かした賑わいづくり



### <KPI>

指標名	現状値	目標値
県内の「専門料理店（日本料理・西洋料理・中華料理）など」の事業者数（店舗数）	1,317 店舗（平成 28 年度）	1,517 店舗（令和 6 年度）
奈良県農畜水産物ブランド認証 品種・銘柄数	5 品種・銘柄（令和元年度）	7 品種・銘柄（令和 6 年度）

### <具体的な取組>

- 奈良のおいしい「食」を活かした賑わいづくり
- 奈良の魅力ある「食」の情報発信
- 奈良県プレミアムセレクトの積極的なPR、販路の拡大
- NAFICとBCCとの間で連携協定を締結し、BCCから招へいするシェフとNAFICの学生や県内シェフとの交流の活性化

※BCC・・・バスクカリナリーセンター(スペイン・バスク地方にある世界的な4年制の料理専門大学校)

## 【具体的施策】

### ④インバウンド観光戦略の策定及び実現推進

リニア中央新幹線の「奈良市附近」駅の設置が見込まれる 2037 年を見据え、策定する「(仮称) 奈良インバウンド観光戦略 20 年ビジョン第 I 期計画」に基づき、本県が有する観光資源や自然・歴史・文化資源を活用し、戦略的なインバウンド施策を展開します。あわせて、意欲ある市町村と連携・協働し、地域ごとのインバウンド観光戦略を策定します。

## <KPI>

指標名	現状値	目標値
外国人旅行者数（再掲）	258 万人（平成 30 年）	450 万人（令和 6 年）
外国人延べ宿泊者数	44 万人泊（平成 30 年）	100 万人泊（令和 6 年）
外国人旅行消費額	228 億円（平成 30 年）	400 億円（令和 6 年）
奈良市以外地域での宿泊割合	15%（平成 29 年）	18%（令和 6 年）

## <具体的な取組>

- 観光力に必要な 6 つの要素（宿泊施設の質と量の充実、滞在環境の快適性の向上、食の魅力向上、効率的な交通・道路体系の形成、自然・歴史・文化資源の保存と活用、楽しい奈良の実現）を備えた観光地としての奈良の魅力づくり
- 奈良の奥深い魅力を海外に向け強力に発信するなど、対外プロモーションの強化
- M I C E の誘致競争力の強化など、国際交流等の推進
- これらの取組を進めるための観光に関するデータの充実や観光産業の人材育成・人材確保、県と市町村の連携・協働など観光振興の土台づくり